

National Institute of Information and Communications Technology

階層的サービス連携のための キャッシュ機構

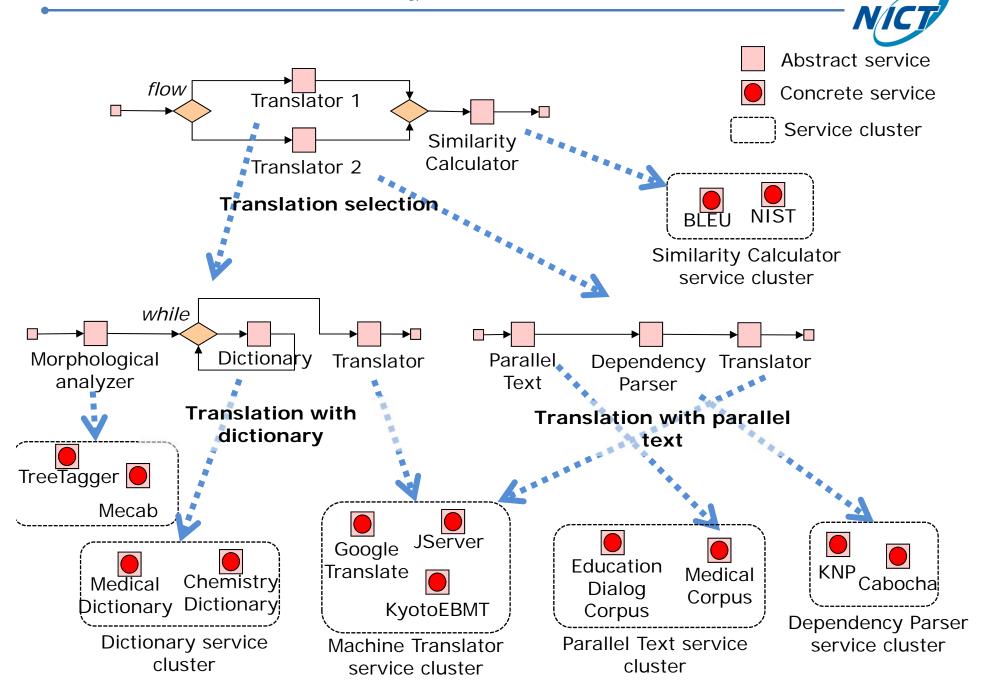
独立行政法人情報通信研究機構 田仲正弘, 村上陽平

サービスコンピューティング研究専門委員会 第2回研究会



背景

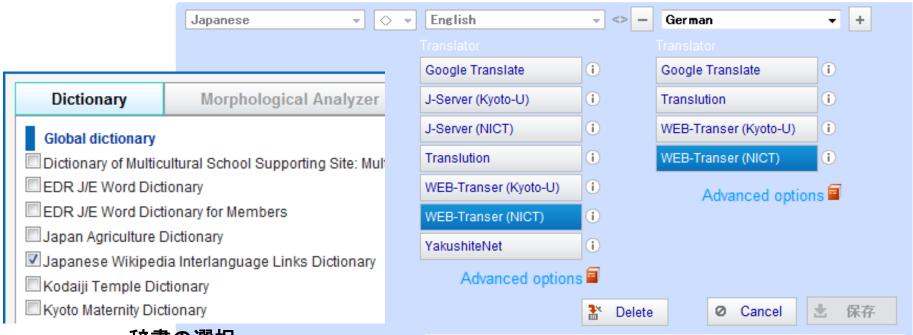
- オープンなサービス環境:様々なサービス提供者/利用者が 参加し,独自にサービスを提供/利用
- 例: 言語グリッド1
 - 18ヶ国から140以上の組織が参加
 - 170以上のサービスが登録 (機械翻訳,辞書,etc.)
 - サービスを標準化
- 非機能的性質の設定のため, 実行時に <u>サービスのバインディ</u> ングを決定





問題点1 階層的バインディング構成のコスト

- 各ユーザは興味のあるサービスのみ指定
- ポリシーに基づく制約は常に変化
- → システムが実行時に自動的にバインディングを構成する必要



辞書の選択

機械翻訳の選択

言語グリッドToolbox (http://langrid.org/tools/toolbox)



問題点2 実行時適応の扱い

- 動的な環境の変化等に対応するため、様々な実行時適応の 技術が提案
 - AO4BPEL[Charfi 07], Service Supervision[Tanaka 09], ...
 - 複合サービス実行中に、新たなサービスの追加や一部サービスのスキップを可能にする
- 実行時適応が行われると、バインディングも再構築が必要 → 実行時に実施すると性能が低下



アプローチ ATMSの適用

- ATMS (Assumption-based Truth Maintenance System)
 [Kleer 88]
 - 仮説推論のためのフレームワーク
 - 複数のコンテキストの表現
 - 矛盾の効率的な管理



階層的サービス連携と仮説推論の対応

複数のサービスから一つのサービスを構成⇔ルールに基づいて複数の記号 から新たな記号を生成

ルールによるサービス連携の表現:

Translator, MorphologicalAnalyzer, Dictionary

- → TranslationWithDictionary
- サービス提供者やアプリケーションのポリシーにより、あるサービス連携の構成が、他のサービス連携の可能性と同時に実現できない ⇔ 新たな信念が、すでに導かれた他の信念と矛盾

ポリシーによる衝突の例:

- TranslationWithDictionary (Translator, MorphologicalAnalyzer, Dictionary),
 TranslationWithParallelText (Translator, Parser, ParallelText),
 SimilarityCalculator → TranslationSelection
- 2. Translator, Parser → ⊥ (サービス提供者やアプリケーションのポリシー)
- 3. TranslationWithDictionary (Translator, MorphologicalAnalyzer, Dictionary), Translator, SimilarityCalculator → TranslationSelection



形式的定義

ノード

- 抽象/複合サービスに対応
- < name, type, label, justification >
 - name: サービス名
 - type: サービスタイプ
 - label: サービスを実現しうる環境の集合 (環境: サービスが実現されるのに必要な抽象サービスの集合)
 - justification: サービスを実現する他のサービスのノード群とのリンク
- 複合サービスモデル
 - type1, type2, ..., typen \rightarrow (name, type)
- 矛盾
 - アプリケーション設計者やサービス提供者に与えられた制約
 - name1, name2, ..., namen $\rightarrow \bot$



形式的定義の例

- 抽象サービス
 - (AbstractTranslator, MT, {{}}, {()})
 - (AbstractDictionary, Dic, {{}}, {()})
- 複合サービスモデル
 - MT, MA, Dic \rightarrow (TransWithDic, MT)
 - MT, DP, PT \rightarrow (TransWithPT, MT)
 - MT, MT, Sim \rightarrow (TransSelect, MT)
- 矛盾
 - AbstractTranslator, AbstractParser → ⊥



vironments

形式的定義の例

複合サービス

(TransSelect,

MT,

Label

{{AbstractTranslator, AbstractSimilarityCalculator, AbstractDictionary, AbstractMophologialAnalyzer}, {AbstractTranslator, AbstractSimilarityCalculator, AbstractParallelText, AbstractParser}, {AbstractTranslator, AbstractSimilarityCalculator, AbstractDictionary, AbstractMophologialAnalyzer, AbstractParallelText, AbstractParser}},

{(AbstractTranslator, TransWithDic, AbstractSimilarityCalculator), (AbstractTranslator, TransWithPT, AbstractSimilarityCalculator), (TransWithDic, TransWithPT, AbstractSimilarityCalculator)}

Justification



形式的定義の例

複合サービス

(TransSelect,

MT,

Label

```
{{AbstractTranslator, AbstractSimilarityCalculator, AbstractDictionary, AbstractMophologialAnalyzer}, {{AbstractTranslator, AbstractSimilarityCalculator, AbstractParallelText, AbstractParser}, {{AbstractTranslator, AbstractSimilarityCalculator, AbstractDictionary, AbstractMophologialAnalyzer, AbstractParallelText, AbstractParser}}, {(AbstractTranslator, TransWithDic, AbstractSimilarityCalculator), (AbstractTranslator, TransWithPT, AbstractSimilarityCalculator)}
```

New justification

AbstractTranslator, AbstractParser → ⊥



形式的定義の例

複合サービス

(TransSelect,

MT,

Label

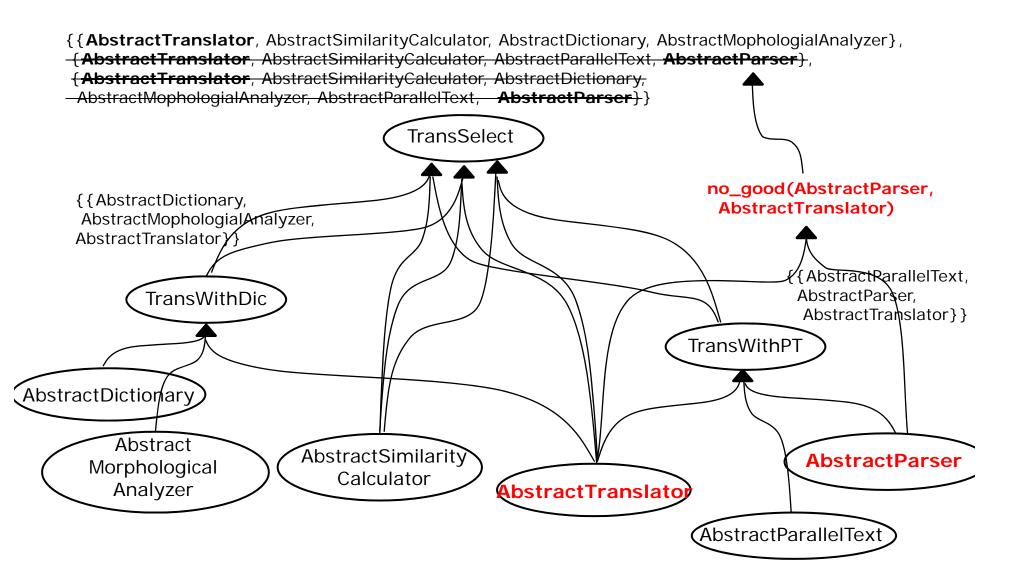
{(AbstractTranslator, TransWithDic, AbstractSimilarityCalculator), (AbstractTranslator, TransWithPT, AbstractSimilarityCalculator), (TransWithDic, TransWithPT, AbstractSimilarityCalculator)}

New justification

AbstractTranslator, AbstractParser → ⊥



バインディング依存グラフ





バインディング依存グラフの構築

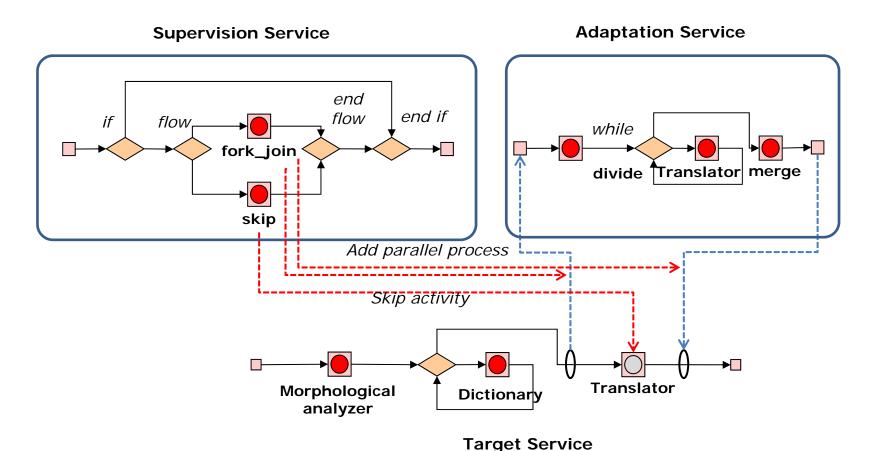
- *s* ← {si}, Sa (ユーザが指定したサービス) を用いて以下を実行
- 1. 依存するノードのラベルに基づいて, ラベルを計算 $L_{new} = \{ \cup e | e \in \forall i \text{ (label of } s_i) \}$
- 2. L'←すべてのnogoodとそれらを包含する環境を削除
- 3. L" ← Sa および同じラベルの他の環境を包含する環境を削除
- 4. if ラベルに変更がなければ終了
- 5. if s が矛盾だったら
 - 1. L"のすべての環境をnogoodに
 - 2. すべてのノードのラベルからnogoodを削除
- 6. sに依存するノードのラベルに、ラベルの変更を伝播

有効な環境が存在すれば、それらを満たす具象サービスの組み合わせをCSPソルバによって探す



実行制御APIによる適応

- ビジネスロジックを実行時に変更
- 実行制御API(fork, join, skip, etc.) からなる複合サービスを並 行して実行





バインディング依存グラフの更新

- 実行制御の適用時に、既存のグラフの変更
- CSPソルバを新たに得られたラベルの各環境について実行

- 1. cstarget' ← adapt(cstarget) // 複合サービスモデルを変更
- 2. j ← 推論エンジンで cstarget' を使ったjustificationを計算
- *3. L ← j*の帰結のノードのラベルを計算
- 4. CSPソルバで, L の各環境について具象サービスの割り 当てを発見

NICT

実験

評価対象

- バインディング依存グラフの構築時間
- バインディングの更新時間

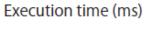
規模の設定

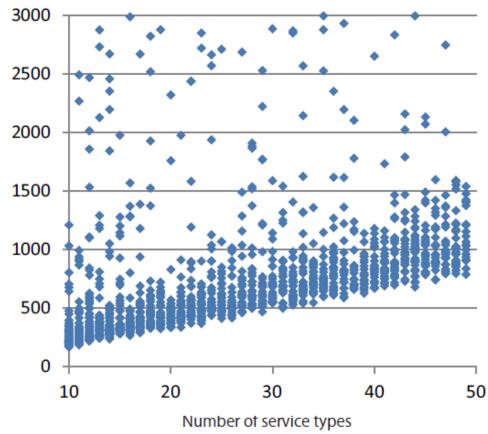
- サービスタイプ数: n (10 ~ 50)
- 複合サービスモデル数: n
 - 構成要素のサービス数はいずれも3
 - タイプはランダムに設定
- 各サービスクラスタの具象サービスの数: 20
- 制約: 異なるタイプのサービス2つの組み合わせを禁止するnC2×rの制 約を設定
 - rは2つのサービスクラスタ間に定められた制約の数に相当
 - r= 10に設定



バインディング依存グラフの構築

- サービスタイプの数に 対して、実行時間はあ る程度線形に増加
- ランダムに生成された 設定によって、ラベルの 更新にかかる時間が大 きくばらつく

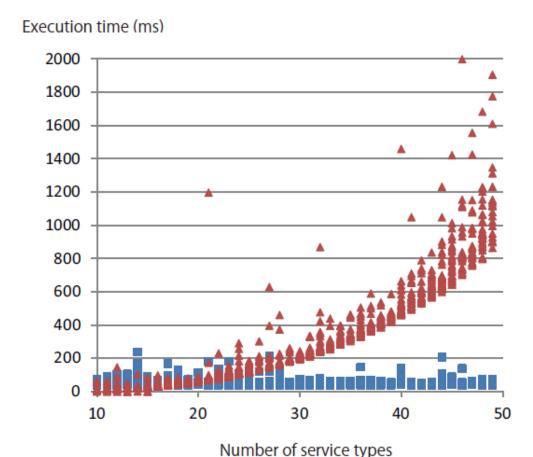






バインディングの更新

- グラフの更新は定数時間
 - ラベルの変更を伝播させないため
- 具象サービスの決定時間 は指数的に増大:
 - CSPソルバの計算コストは サービスタイプ数(具象サー ビス数)に基づいて増大
 - 制約の密度が下がれば処理 時間は短くなる



Update graph

▲ Solve constraints



まとめ

- 研究の目的
 - オープン環境で階層的なサービス連携のバインディング を計算
 - 制約の動的な追加, 実行時適応に対応
- アプローチ: ATMSのアイデアを適用
- 貢献
 - 制約の追加を効率的に扱えるバインディング依存グラフ のためのモデルとアルゴリズムを提案
 - 実行時制御に応じたバインディング依存グラフの修正手 法を提案